

2019 年度 個人研究実績・成果報告書

2020 年 4 月 8 日

| | | | |
|---|--|------------------|---|
| 所属・職名 | 商経学部・教授 | 氏 名 | 師尾 晶子 |
| 研 究 課 題 | 古代ギリシア史・東地中海史研究 t t | | |
| 研究 キーワード | 古代ギリシア史・碑文習慣・文化記憶・ペル シア戦争・ローカルヒストリー | 当年度計画に 対する達成度 | 3.概ね順調に研究が進展 し、一定の成果を達成した が、一部に遅れ等が発生した |
| <p>1. 研究成果の概要</p> <p>科研費の研究プロジェクトおよび学内の研究プロジェクトの推進・続行に終始した。3 月に予定されていた 3 つの報告は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により中止された。一部は 2020 年秋以降に延期、一部の報告は中止し、論文の形で公開する予定である。11 月にギリシア国立劇場との共同プロジェクトを立ち上げ、2020 年 7 月と 9 月に開催を予定していたが、これも上記事情から不明となっている (https://www.n-t.gr/en/news/allnews?nid=33479)。2019 年度中に初校の出るはずであった発掘報告書もおそらく上記事情から発行が遅れている。</p> <p>2. 著書・論文・学会発表等 (海外研究機関等の研究者との国際共著論文がある場合は必ず記載)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 西洋史学会大会小シンポジウム「古代地中海世界における人々の移動とネットワーク」のコメンテータ (静岡大学、5 月 19 日) 2. 2019 年度第 1 回パルテノン科学研究例会「前 5 世紀アテナイ碑文の刻文年代再考：年代の問題と美術史・政治史・宗教史の叙述への影響」(筑波大学文教校舎、6 月 15 日) 3. アテネ碑文博物館における科研メンバーへのレクチャー (アテネ、9 月 9 日) 4. 金澤周作監修 (共著)『論点・西洋史学』ミネルヴァ書房 (2020 年 4 月、既刊) 5. 「松明競走」『地中海学会月報』429、1 および 8 頁 (2020 年 4 月) 6. 「極右政党「黄金の夜明け」の台頭と極左連合政権下のギリシアにおける古典教育と古代史の再定義」『歴史学研究』997 (2020 年 6 月予定) <p>3. 主な経費</p> <p>学会費の支払い、研究に必要な書籍、雑誌、オンラインサービス・資料、PC 関連消耗品の購入など。</p> <p>4. その他の特筆すべき事項 (表彰、研究資金の受入状況等)</p> <p>【科研費】</p> <p>基盤研究 A 2018-2021 年度 (研究分担者) パルテノン彫刻研究ーオリエント美術を背景とする再解釈の構築 (18H03566)</p> <p>基盤研究 A 2018-2022 年度 (研究分担者) 古代地中海世界における知の動態と文化的記憶 (18H03587)</p> <p>【その他の経費】</p> <p>経済研究所研究プロジェクト (2018-19 年度) オリンピック復興運動に関する社会文化史的考察</p> <p>2019 年度学術研究助成金「古代東地中海のネットワークと歴史の創造」</p> <p style="text-align: right;">(本文は 1 ページ以内にまとめること)</p> | | | |